

# 地球

昭和八年

六月 一月

第拾九卷

地球 第拾九卷 總目錄 昭和八年一月—六月 (アラビア數字は號數を示す)

圖 版

第一版	蓼科北麓氷舌盆地	1	小川 琢治	32.1	(第一號)
第二版	樽陵島産ケルスウト角閃石及びビジオン輝石	1	清水 三郎	32.1	(第二號)
第三版	金澤市並に石動町近傍の地質圖	1	神保 憲	32.1	(第三號)
第四版	信濃に於ける氷河遺跡	1	堀 米次	32.1	(第四號)
第五版	和歌山縣有田川流域地質圖	1	小川 琢治	32.1	(第五號)
第六版	信濃に於ける氷河遺跡	1	小川 琢治	32.1	(第六號)
	中央日本氷成堆積物の分布	1	小川 琢治	32.1	(第六號)
	愛媛縣東宇和郡魚成村田穗上組下部三疊紀アンモナイトに就て	1	清水 三郎	32.1	(第六號)
	プラーターの宇宙構造論	1	堀 米次	32.1	(第六號)
	地名の地理學的考察とその一例(完)	1	小林 悟一郎	32.1	(第六號)
	豊田八十代先生著萬葉地理考を讀みて同先生の教を乞ふ	2.1	住登 勝藏	32.1	(第六號)
	愛蘭一瞥	1	小牧 實繁	32.1	(第六號)

伊太利ところ

三四  
三五  
三六、完

鬱陵島火山拋出物中に含まれたるケルスウト角閃石及びビジオン輝石に就いて

3.2.1 瀧川 規一 一五七  
三五

2 春本 篤夫 六

岐阜縣惠那郡戸澤の地入り地に就いて

2 上治寅次郎 一〇

福佐山地に於ける山名の原義一二に就いて

2 小林悟一郎 二四

房總以西太平洋岸の民族移動に關する歴史地理的考察

2 耕崎 正男 一五

金澤市並に富山縣石動町附近の第三紀層 (一) (二) (三)

3 小野山武文 一五  
二〇  
二五

温泉の送湯に就いて

3 上治寅次郎 一六

能登鹽田の地理學的考察

3 吉崎 正松 二〇

山形地方道・街路の發達に就いて

3 白田金兵二 三〇

大和穴蟲産の鋼玉に就いて

3 瀧川平八郎 三三

沿海漁撈民間に於ける人口の分布 (譯)

4 小牧 實繁 三六

斜長石を識別する晶帶法の紹介 (一)

5.4 笹倉 正夫 三〇  
三五

志摩木場の洪積世介化石に就いて

4 大炊御門經輝 三〇  
三五

海谷 (譯)

4 別所 文吉 三六

北九州に於ける近世代地殻變動に就て

鳥山 武雄 5 三三

和歌山縣有田川流域の地質 (一)

井上 重一 5 三三

九州北松浦炭田に於ける蛇の目層に就て

上治寅次郎 5 三三

砥部焼産地としての砥部町の研究

西龜 正夫 5 三三

世界戦後の地名考 (一)

瀧川 規一 5 四〇

福辰山霞石閃長岩中の長石類

吉澤 甫 6 三三

關東州旅大山地の河岸段丘に就いて

松下 進 6 四〇

萬國地理學會議

小牧 實繁 6 四〇

### 新著紹介

米國の政治組織及其活動 1 七

地球物理學 3 三六

鐵山の開發と經營 1 七

本邦鐵鋼業の現勢 3 三六

人文地理學の基礎的知識 1 七

鐵物學入門 3 三六

郷土と産業 1 七

村の人文地理 3 三六

石川縣の地誌 2 二六

天文年鑑 4 四〇

歐洲の暴風地帯を往く 2 二六

邦彩積華大寶鑑 4 四〇

熊本縣地貌誌 3 三三

鐵物學概論 5 四〇

近代大阪 3 三三

革命の印度 5 四〇

世界恐慌とプロツク經濟 3 三三

略圖練習二百題 5 四〇

新地理教授法	5	四七
郷土地理範例	6	四八
日本地理統計總覽	6	四八
列國々勢年鑑	6	四八
支那歴代地名要覽	6	四九
青島(日向特輯)	6	四九
<b>雜報</b>		
護謨の新利用法	1	三
天津港の背後地	1	六
英國の石炭業	1	六
萬年マツチの發明	1	六
世界主要海運國の全噸數及繋船數	1	六
露國グロズノイの石油	1	六
東京地質學會外四學會聯合講演會豫告	1	六
昭和七年十二月廿八日 陸地測量部出版地圖目錄	4, 2, 2, 2	三三
バクーの石油の現在	2	一七
ジョホルの産業	2	一六〇
昭和七年度本邦對外貿易額	2	一六〇
世界の原棉消費	2	一六一
暹羅産唐木の各種	3	二二九
對英貿易品概説	3	二四〇
レーク・チャールス港	3	二四三
綿布道路	3	二四三
ブラジル國に於ける絹工業	3	二四三
黒龍江の水運	3	二四三
内地朝鮮間の電話開始	3	二四四
東京地質學會外四學會見學旅行豫定	3	二四四
圖版第四版説明	4	三三
除虫菊とアルジェンチン	4	三三
除虫菊の殺虫素	4	三三
享保以後の地理關係出版書目(大阪)	6, 5, 4	三三
廣島の縫針	5	四〇七
支那へ陶器の輸入	5	四〇八
滿洲國に於ける歐米人	5	四〇八
新鮮牡蠣の飛行送付	5	四〇八
東印度市場に於ける東洋	5	四〇九
東アフリカ事情	5	四〇九
咸南山地帯の亞麻と薄荷栽培	5	四一
會寧・羅津間の新道路計畫	5	四二
全羅南道の硫酸礬土	5	四二
朝鮮の鹽田擴張五箇年計畫	5	四二
朝鮮吉惠線の一部開通と吉州橋竣成	5	四三
世界大陸間の無線電話	6	四九〇
日本とカナダ	6	四九三
錫蘭の對英國品特惠問題	6	四九三

黑龍江省の階農	6	四九三
米國の硫黃	6	四九三
臺灣人の郷黨觀念	6	四九四
熱河統治の五大方針	6	四九四
世界的に知られた元山大豆	6	四九五
城津奥地のマグネサイト鑛脈	6	四九五

質疑應答

氷山に接近すると水温が急昇する理由	2	一六三
-------------------	---	-----

# 地球

號壹第 卷九拾第

行發日一月一年八和昭



圖版  
第壹版  
農科北陸林芸盆通

中央日本水産雜糧物の分布(二)

愛媛縣東和郡魚成村田穗主組  
下部三體紀アンモナイトに就て

地名の地理學的研究と其の一例(完)

豐田八十林著  
學讀みて爾先生の教を乞ふ(二)

愛  
伊太とてろ(三四)

新著 招

第拾卷目録

神農氏因豆教田辟土種穀以振萬民

理學士

理學士

學士

學士

學士

學士

學士

學士

小川 琢治

清水 三郎

堀 米次

小林 悟一郎

住 登勝藏

小 牧實繁

瀧 川規一

京

都

帝

國

大

學

內

地

球

學

團

地

球

學

團

# 地球第拾九卷第壹號 (昭和八年一月)

## 目次

### 圖版 第壹版 蓼科北麓氷舌盆地

中央日本氷成堆積物の分布(二)……………

理學博士 小川 琢治…一

愛媛縣東宇和郡魚成村田穗上組  
下部三疊紀アンモナイトに就て……………

理學士 清水 三郎…一〇  
神保 惠…二〇

プラトリーの宇宙構造論……………

文學士 堀 米 次…三二

地名の地理學的考察とその一例(完)……………

小林 偕一郎…四二

豊田八十代先生著萬葉地理考を讀みて同先生の教を乞ふ(一)……………

住 登 勝 藏…五五

愛 蘭 一 瞥……………

文學士 小 牧 實 繁…六五

伊太利ところく(三四)……………

文學士 瀧 川 規 一…七〇

### 新著紹介

○米國の政治組織及其活動

○天津港の背後地

○鑛山の開發と經營

○英國の石炭業

○人文地理學の基礎的知識

○世界主要海運國の全噸數及繫船數

○郷土と産業

○露國グロースノイの石油

### 雜報

○謾談の新利用法

○東京地質學會、日本岩石礦物礦床學會、地球學團、日本地理學會及日本火山學會との聯合講演會開催豫告

### 第拾八卷 總目錄



# 地球學團規約

第一條 本團を地球學團といふ。  
 第二條 本團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。  
 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又は會員が多い地方には支部を置く事がある。  
 第四條 本團の事業は次の如くである。  
 雜誌並に圖書の刊行  
 講演並に講習會の開催  
 實地見學の指導  
 第五條 本團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。  
 第六條 本團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を發行所へ送金する事。  
 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

## 註文規定

●購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい  
 ●本誌の御註文代金郵税共すべて前金にて御送り下され度候  
 ●郵券代用にての御註文は一割増に願上候  
 ●振替貯金にての御送金は(振替大阪七參參番、東京五貳六〇七番)博多成象堂に願上候  
 ●前金切の場合には「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候  
 ●特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

一册	定價金五十錢	郵税金參錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候  
**廣告料** 一頁 金五十圓

昭和七年十二月廿五日印刷納本  
 昭和八年一月二日發行  
 (第十九卷) 定價金五拾錢

許不 複製  
 載轉 禁

## 發行所

編輯者 京都帝國大學 地球學團  
 右代表者 藤田元春  
 發行所 大阪府南區大寶寺町西之三丁貳拾貳番地 博多久吉  
 印刷所 大阪府西區阿波座中道三丁目四番地 井下精一郎  
 印刷所 大阪府西區阿波座中通三丁目四番地 井下書籍印刷所

## 博多成象堂

電話特南壹壹七七番

## 發賣所

東京市神田區錦町三丁目拾壹番地  
 大阪府南區大寶寺町西之三丁貳拾貳番地  
 博多成象堂  
 振替(東京五貳六〇七番 大阪七參參番)

## 賣捌所

(東京) 東京隆文館 東海堂 大東館  
 (大阪) 北文館 參文社  
 (神戶) 寶文館 川瀨日進社  
 (京都) 共盛社 大瀨盛社  
 (名古屋) マガジン社 川瀨書店 星野書店

# CHIKYŪ THE GLOBE



Vol. XIX. No. 1.

January, 1933.

Plate 1. A Basin formed by Glacial Tongue in the Northern  
Foot of Tateshinayama, Shinano

Distribution of the Glacial Deposits in Central Japan (2) By T. Ogawa, <i>R. H.</i> .....	1
On the Triassic Ammonites from Tao, Iyo. By S. Shimizu, <i>R. S.</i> and M. Jimbo.....	10
Plato's Conception on the Forming of the World. By Y. Hori, <i>B. S.</i> .....	32
Geographical Consideration of Place-Names and an Example. (8) (concluded). By G. Kobayashi.....	42
A Review on Mr. Toyada's Geographical Study of Mannyōshū. (1) By K. Sumito .....	53
A Trip to Ireland. By S. Komaki, <i>B. S.</i> .....	63
Glimpses of Italy. (34) By K. Takigawa, <i>B. S.</i> .....	70

New Books—Geographical Notes—

Index to the Volume XVIII

**Chikyū Gakudan**

Kyōto Imperial University